

学位記授与式を迎えられた卒業生の皆さん、本日は誠におめでとうございます。

楽水会の会長として、また、本学の1卒業生として、卒業生ならびにご家族の皆様へ心よりお祝い申し上げます。  
私が本学を卒業した38年前の授与式でも、卒業できる安堵感や新生活への期待と不安など、様々な感情が入り混じっていたことが昨日のこのように思い出されます。

皆さんが旅立つ現在は、電気・情報分野において極めてダイナミックな大転換期を迎えています。  
私が学生時代に研究していた自然言語処理の頃には想像もつかなかったレベルで生成AIが進化し、社会は最先端AIと高度なセキュリティを前提とした「AIネイティブ」の時代へと大きく舵を切っています。同時に、サイバー空間の脅威や電力供給などの環境課題も顕在化し、科学技術は社会の根幹を揺るがし、同時に未来を切り拓く原動力となっています。

こうした変化の激しい世界で活躍するために私が強く実感しているのは、高度な技術以上に「それらを活かし、新たな社会価値へと昇華させる『人』の力」の重要性です。ここで求められる力とは、単なる専門知識にとどまらず、社会課題の本質や人々の真のニーズを深く洞察する力に他なりません。卒業後も学びを止めず、多様な視点を持つ人々との対話を通じて視野を広げ、次世代の「価値創造型人材」として、これだと思った道へ全力で挑戦してください。

さて、私が会長を務める楽水会は、「会員お互いの親しみを増し、利益をはかり、また知徳をみがく」ことを目的とした電気・情報系の同窓会です。多士済々の卒業生が集う楽水会の一員として皆さんを心より歓迎します。同じ母校を持つ仲間として、互いに刺激し合いながら共に歩んでまいりましょう。

最後となりますが、皆さんの母校である東京科学大学は、今年「国際卓越研究大学」として力強い一步を踏み出しました。皆さんもSCIENCE TOKYOの卒業生としての誇りを胸に、新しい世界へ自信を持って踏み出してください。本学での学びを糧に世界をリードしていくこと、そして皆さんの未来が希望に満ちたものであることを心から祈念いたします。

改めまして、本日は本当におめでとうございます。

2026年度楽水会会長 堺 和宏